

授業科目 臨床生理学 II

【担当教員名】 生駒 俊和	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

【概要・一般目標：GI0】

1. 生体の神経・筋系、呼吸器系の生理機能変化の記録法と生理機能評価法に関する知識を習得する。
2. 超音波検査の正常画像と疾患の特徴的な画像の判別法を理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 正常脳波の特徴や異常脳波の所見、及び脳波の賦活法を説明できる。
2. 誘発電位検査法の目的を説明できる。
3. 筋電図検査の正常波形と異常波形を説明できる。
4. 神経伝導速度検査誘発電位検査法の目的を説明できる。
5. 換気機能検査を説明できる。
6. 血液ガスのデータを解釈できる。
7. 超音波像の正常画像と異常画像を説明できる。
8. 平衡機能検査や眼底検査法について説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳波 1 発生機序、導出法、基礎的要素	1	講義
2	脳波 2 正常脳波	1	講義
3	脳波 3 賦活法、異常脳波	1	講義
4	脳波 4 誘発脳電位	2	講義
5	筋電図 1 筋電図検査の基礎事項、正常波形、異常波形	3	講義
6	筋電図 2 神経伝導速度	4	講義
7	呼吸器系 1 肺機能検査の基礎事項、換気機能検査 1	5	講義
8	呼吸器系 2 換気機能検査 2	5	講義
9	呼吸器系 3 血液ガスの基礎事項、ガス分析	6	講義
10	呼吸器系 4 酸塩基平衡	6	講義
11	呼吸器系 5 データ評価、基礎代謝	6	講義
12	超音波検査 1 走査法、腹部超音波像	7	講義
13	超音波検査 2 腹部超音波像異常画像	7	講義
14	超音波検査 3 体表臓器、泌尿器	7	講義
15	平衡機能検査、眼底検査法	8	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査学講座 生理機能検査学 第3版	大久保 善朗 他	医歯薬出版	2010・6,930円
参考書	臨床工学講座 生体計測装置学	石原 謙	医歯薬出版	2010・4,830円・2010年3月
その他の資料	資料配布			

【評価方法】

講義中試験 (30%)
定期試験 (70%)

【履修上の留意点】

生理学の内容を理解して受講のこと。医学略語をしっかりと覚えて各種検査の判読の流れを理解すること。
不明な点は必ずその場で解決すること。試験は講義中と講義終了後に行い、講義欠席の場合はその講義中試験は0点とする。